

企業変革の最前線から読み解く

生成AIで実現する人と組織の新しい可能性

かつてないスピードで生成 AI サービスが次々と登場し、様々な企業や組織が今、いかに生成 AI に向き合うべきか試行錯誤している。今回は AI とデータ活用技術を駆使して企業のビジネス課題解決や組織変革支援に注力している株式会社 AVILEN 代表取締役 高橋 光太郎氏にお話を伺った。

AVILENとは

当社は「データとアルゴリズムで、人類を豊かにする」というパーパスのもと、2018年に設立しました。日本の最大課題は少子高齢化による労働人口減少です。また、企業が直面するベンダーしか機能改修ができないベンダーロックインや2025年の崖といった課題もあります。AIやデータ活用はこれらの課題を解決する強力なツールであり、その活用によって経営変革を実現する支援をしています。AI活用やガバナンス体制構築を支援する「AI戦略策定とガバナンス」、AI開発・導入をサポートする「AI開発支援」、デジタル人材育成を行う「組織開発」の3本柱で事業を展開し、創業以来800社以上を支援してきました。

生成AIの進化と人間らしい仕事が際立つ時代へ

近年、生成AI技術は急速に進化し、自然な対話や自動化レベルが向上しています。AIと気づけないほどのデジタルクローンを構築し、多言語でスクリプトを読ませる事や、コールセンターの電話対応のAI化が進んでいます。

ChatGPT、Gemini、Claudeなど、次々と新しい生成AIが登場し、その性能は日々向上しています。先進的な企業では、AIの実用化が進んでいます。教育

現場でも生成AIを活用することで多くの校務を効率化できます。例えば、数学の問題でつまづいた学生への指導をAIに相談すると、前提知識の確認から効果的な解説ポイントまで、きめ細かなアドバイスが得られました。採点や事務業務なども自動化・効率化することが可能です。これからの校務は、学生に寄り添うことや企画など、人間ならではの役割が一層重要になり、データとAIができないことが価値になります。

AIの力を引き出す「質問力」の重要性

AI導入は決して難しいものではありませんが、多くの方が変化に対する不安や新ツールへの抵抗を感じています。深刻化する人手不足の中、AIは業種を問わず、業務の効率化・自動化によりコスト構造を改善し、アウトプットの質も向上させます。その結果、貴重な人材を雑務から解放し、より価値ある経験を提供できます。AIを効果的に活用するためのカギは「質問の仕方」と「プロセス設計」です。自分が何を達成したいのかを明確にイメージできなければ、AIに適切な指示を与えられません。「良い質問力」は、学生にとっても重要なスキルになるでしょう。

専門学校へのメッセージ

日々の業務で誰もがAIを使うようになるためには、企業や教育現場が、組織文化や業務プロセス、人材育成の在り方を見直し、AIを活かした新たな働き方の構築が求められます。大切な価値観を守りつつ、AIを用いた仕事環境を整え、学生に寄り添う事や、先生自身の学びの時間を作ることが、これからの組織に必要なことと考えます。また、これからの学生はAI活用を前提として、更に追加で何ができるかが重要になってきます。学校自体が、未来に必要な教育が提供できるよう、ぜひ生成AIに触れ、生活や仕事の中で活用していただきたいです。



高橋 光太郎 氏

代表取締役 / データサイエンティスト
創業メンバーとして AVILEN に参画し、2021年から代表取締役に。2023年に AVILEN を東証グロースに上場。東京大学大学院を修了し、機械学習による即時的な津波高予測の研究に従事。金融データ活用推進協会標準化委員。

第9回セキュリティコンテスト最終審査結果発表 [PR]

MBSD Cybersecurity Challenges 2024

全国の専門学校・高等専門学校を対象としたセキュリティコンテストの最終審査会を2024年12月12日に開催しました。全国17校、39チームの応募があり、書類審査で選ばれ

た10チームがプレゼンテーションを実施しました。

結果は、最優秀賞 麻生情報ビジネス専門学校福岡校「麻生使節団」、第2位 静岡産業技術専門学校

学校「サンギF」、第3位 新潟コンピュータ専門学校「シ・電子遊戯部」。

受賞されたチームの皆様、おめでとうございます!今後もコンテストを通じ、セキュリティ教育に貢献できるよう、企画していきます。



最優秀賞 麻生情報ビジネス専門学校 福岡校 麻生使節団



第2位 静岡産業技術専門学校 サンギF



第3位 新潟コンピュータ専門学校 シ・電子遊戯部

お問い合わせ

セキュリティコンテスト事務局

TEL : 03-3436-2035

Mail : mbsd@setten.sgec.or.jp

当事務局はTCE財団の検定事業に賛同します。

学生がビッグデータ分析に基づく課題解決案を発表

「Dream成果発表会2024年度後期」見学者募集

一般社団法人ビッグデータマーケティング教育推進協会(以下、Dream)では「データマーケター養成講座」の学習成果発表の機会として、2025年2月20日(木)に「Dream 成果発表会 2024 年度後期」を開催いたします。Dream では見学者を募集しています。

学生の取り組みを応援されたい学校様や企業様は、是非見学にいらしてください。Dream 会員以外の方でもご参加いただけます。また、発表会はオンラインで行いますので、途中入場・退出も問題ございません。見学をご希望の方は、専用申込フォームよりご登録いただきますようお願い

いたします。

多数の方のお申し込みをお待ちしております。

▼お申込みはこちら



お問い合わせ

一般社団法人ビッグデータマーケティング教育推進協会事務局

TEL. 03-3436-2057

<https://jp-dream.or.jp/>

当事務局はTCE財団の検定事業に賛同します。

専門学校と経営 | 通信

No.25 2024年12月発行 (年4回)

■本誌記事内容に関するお問い合わせ

【専門学校と経営】事務局

〒105-0021 東京都港区東新橋2-18-3 ルネパルティエーレ汐留906 (株式会社ビーアライブ内)

[TEL]03-3436-2035 [Mail]setten-info@sgec.or.jp [URL]<https://setten.sgec.or.jp/>

協力：一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団 (TCE財団) 事業部事業課 検定試験センター

「創る」「使う」「伝える」
情報検定 J 検
URL <https://jken.sgec.or.jp/>

ビジネス能力検定 B 検
Jobpass
ジョブパス
URL <https://bken.sgec.or.jp/>

●【専門学校と経営】は、TCE財団の検定事業 (J検・B検) と連携して、専門学校の産学連携を促進する様々な取組について情報発信しています。